

【事業者向け】平成30年度放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			
	②	職員の配置数は適切であるか	7			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		・十分配慮されている。定期的に施設を点検し情報の共有に努める。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	7			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		・公開している。初任者に対し説明不足だった。情報共有に努める。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	1	・第三者による外部評価は行われていない。ただ、療育に関しては、外部講師による勉強会を定期的におこなっている療育の改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	1	・標準化されたものは使用していない。インフォーマルなアセスメントで状態把握をしている。標準化されたアセスメントツールの導入については、今後も勉強しながら検討していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		・作成している。会議等で情報の共有に努める。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		・支援終了後は勤務時間の都合上、常勤職員で行い、翌日の支援開始前の打合せ時、改めて確認し情報を共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	1		・行なっている。会議等でガイドラインを基に確認し周知する。

【事業者向け】平成30年度放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との 連携 関係機関 や保護者との 連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわし者が参画しているか	7			
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか	2	4	1	・過去に医療的ケアが必要な子どもを受け入れたことがあったが、現在は該当者なし。 今後、受け入れる場合は、保護者と相談しながら、必要に応じて主治医とも連携していきたい。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	1	・これまで当事業所では中高生がメインのため、就学前の事業所との直接の連携はなかった。 今年度は児童発達支援事業での幼児療育も開始したのでこれを機に、関係機関との連携に努めていきたい。 ・職員間での共有に努める。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	5	2		・移行支援会議が開かれる場合、要望があれば積極的に参加している。会議に参加できない場合も可能な限り計画相談事業所等へ情報を提供し、卒業後の事業所に繋がるよう協力していきたい。 ・職員間の周知に努める。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		1	・受けている。 ・職員間の共有に努める。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	3	・これまで、放課後児童クラブや児童館とは、療育の一環としての交流はなかった。 今後利用者、保護者とも意見交換しながら検討していく
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		5	2	・これまで地域自立支援協議会との直接的な交流はなかった。参加できる機会があれば関わってきたい
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		・日常の送迎時や面談等で情報の共有を図り療育に活かしている
保護者への 説明責任等	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4		・現在、ペアレントトレーニングとしての助言はおこなっていない。 個別面談時や送迎時に相談があった時は、その度検討しできる限りのアドバイスと協力はしている。 課題として検討していく
	㉚ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		・行なっている。職員間の周知に努める。
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	2	・父母の会は過去にはあったが現在は無い。 昨年も検討課題となっていたが改善されず持ち越しとなり反省している。 来年度は保護者と協働で在り方を検討していきたい。

【事業者向け】平成30年度放課後等デイサービス自己評価表（ピーターパン長命ヶ丘）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③③	子どもの保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		・行なっている。その都度、職員間の情報共有に努める。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3		・過去には、イベント企画で地域からも参加いただいたが、久しく企画していない。ただ、近隣の店舗で行なわれる交流コーナーでの作品展示等、機会があれば参加している。 ・地域との開かれた交流の場としてイベント企画は大切なものと捉えているので、前向きに検討していきたい
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	③⑨	非常災害発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		・行なっている。職員間の周知に努める。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		・常勤・非常勤による事業所の会議等で研修機会を確保しているが、一層の周知に努める。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	5	2		・指示書はないが保護者の指示に基づき対応している。今後書面による指示書を整備する。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2		・作成しているが、口頭で共有することが多い。今後情報が残るよう改善する。

以上